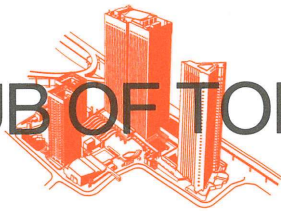




NO. 747
2002年10月3日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】10月3日(木) 第765回例会

◎クラブ創立16周年記念日 (1986年10月31日創立)

◎第2750地区松崎勝一ガバナー公式訪問

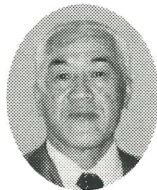
「公式訪問に際して」

第2750地区ガバナー 松崎 勝一氏
(東京駒場RC)

東京南・東京新南合同例会 [会場／東京會館]

ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会 (10:00～11:00)

松崎 勝一氏 プロフィール



生年月日 1929年3月10日
現住所 東京都目黒区自由が丘2-20-11
勤務先 東京都千代田区紀尾井町3-3
東京センター法律事務所
略歴 1953年4月 最高裁判所司法研修所入所
(第7期司法修生)
1955年3月 同所 終了
1955年4月 弁護士登録(東京弁護士会入会)
1968年5月～69年4月
関東弁護士連合会理事
1974年4月～75年3月
東京弁護士会副会長
日本弁護士連合会常務理事
1983年4月～84年4月
関東弁護士連合会常務理事
1984年4月～85年3月
日本弁護士連合会財務委員長
ロータリー歴 1978年4月 東京目黒ロータリークラブ入会
1978年～78年 東京駒場ロータリークラブ入会、
初代幹事
1989年～90年 同クラブ会長
1999年～00年 同地区山の手分区分ガバナー補佐
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
ベネファクター、米山功労者



9月27日／13件 38,500円

2002～2003年度累計 437,000円

多額の御寄付を有難うございました。

田辺 賢三／先週は誕生日のお祝いを有難うございました。小杉 眞史／増強委員会のアンケートご協力有難うございます。河原 勢自／吉田 用親／関 征春／尾上 寛／清原 元輔／後藤 幸生／岩上 義明／山川 政樹／石井 謙次／開発 英基／伯井 隆義 (紙面の都合でコメントを省略させて頂きました)

【先週報告】9月27日 第764回例会

◎卓話 「がん治療の最前線」

当クラブ会員 赤坂病院 院長 小湊雅亮君

◎会長報告

バナー交換の報告が、早川清隆会員 (シンガポール・ORCHARD RC、RAFFLES CITY RC、マレーシア・PONTIAN RC) と藤後幸生会員 (名古屋西RC) よりありました。

◎幹事報告

10月定例理事会は、10月第1週 (10/3) が、ガバナー公式訪問・東京南との合同例会のため、第2週10月11日例会後 (13:40～15:00) に変更して開催いたします。

◎親睦活動委員会報告 (庄司副委員長)

懇親ゴルフ会を11月27日 (水) スリーハンドレッドクラブで開きます。4組ですので、お早目にお申込下さい。

◎出席報告

会員68名／出席45名・欠席23名 (出席規定免除者7名)
ビジター2名、ゲスト1名



10月行事予定

10月は 職業奉仕 米山 月間 です

1日 (火) 火曜会

東京全空ホテル37F アストラル 18:00～19:30

3日 (木) クラブ創立16周年記念日 (1986年10月31日創立)

第2750地区松崎勝一ガバナー公式訪問

ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会

東京會館 12F アイボリールーム 10:00～11:00

東京南・東京新南合同例会

東京會館 12F ロイヤルルーム 12:30～13:30

※4日 (金) の例会は、当合同例会に振替

9日 (水) 千代田グループ第2回会長・幹事会

法曹會館 3F 富士の間 14:15～

10日 (木) 地区雑誌委員長会議

京王プラザホテル 47F あおぞら 15:00～17:00

(懇親会 17:15～)

11日 (金) 10月定例理事会

東京全空ホテル 1F かげろう 例会後 13:40～15:00

地区大会企画実行委員会

京王プラザホテル 42F 高尾 14:30～17:00

21日 (月) 地区役員会

青山ダイヤモンドホール 15:00～19:30

【次週予告】10月11日 第766回例会

◎卓話予定

元米山奨学生

米山奨学生学友会理事 楊 麗美 氏

テーマ「職業奉仕は身近なもの」

3. 我がクラブの職業奉仕活動 職業奉仕委員長 荒木 昭文

職業奉仕は「ロータリーの金看板」と言われながら、多くのRCでは職業奉仕に関する議論を避けて通り、職業奉仕は分らないと言っているロータリアンが多い。当クラブでは創立当初から職業奉仕について繰り返しクラブフォーラムやクラブ協議会を通して勉強をし、理解に努めてきた。

4. 職業奉仕を考える視点 職業奉仕副委員長 立林 英昭

ロータリーの四つの奉仕の内、クラブ、社会、国際奉仕の三つは「奉仕」の前に「・に対する」と入れると、意味がよく理解できるが、職業奉仕だけは違っている。これは、クラブ、社会、国際、が各々奉仕の目的であるのに、職業奉仕の場合は、職業が目的でなく、手段だからである。

職業奉仕の理念を鮮明にするため、本田宗一郎の「得手に帆をあげて」という著書とドイツの評論家ルードリッヒ・ベルネ（1786～1837）の言葉「政府は帆、国民は風、国家は船、時代は海である」を借用して、「職業奉仕は帆（＝ロータリーのエンジン）、世論（国民）は風、ロータリーは船、時代は海である」ともいえるのではないだろうか。得手に帆を上げて職業を撰択しても、時代＝海の潮流に乗り、国民の支持（追い風）を受けねば職業はうまく行かず結局ロータリーという船も先へ進まない。

一方「奉仕」は時代に拘らず、本質は不変であろう。単に「職業責任を果たす義務」だけでは「奉仕」とは言い難く、そこにプラス・アルファが必要となる。このプラス・アルファが「善意」、つまり人の為に良かれと願う心（Think of others）であり、その実践が職業奉仕への参加である。古くは「職業奉仕」の倫理観は、三井高利（三越の創業者）による「良品廉価」「薄利多売」や下村彦左衛門（大丸の創業者）による「取引の誠実と顧客への奉仕」（義を先にして利を後にする者は栄える）という商業道にロータリーの思想が見られる。また現在の三菱グループの三網領も1930年代に創られたものだが、所期奉公はCorporate Responsibility to Society（事業を通じ豊かな社会の実現）、処事光明はIntegrity and Fairness（活動の公開性、透明性）、立業貿易はInternational Through Business（全世界的、宇宙的視野での事業展開）と21世紀的な解釈を施している。この三網領も、ロータリーの倫理感の表現だと思われる。

5. 意見交換

「職業奉仕は身近なもの」

高須 康有 会員

私の職業分類は建築設備工事で、空調設備や衛生設備の設計施工を社業としている。それは、空気や水、熱に直接関わる仕事であり、地球環境問題が取りざたされる中で、専門技術力を高め、限りある資源を有効活用し、環境保全に少しでも役立つよう努めていくという社会的使命を担っており、11頃よりそのことを強く認識している。

具体的には、建物の計画・設計段階から環境負荷低減を考慮し、省エネシステムやグリーン調達を推進しており、

環境規格のISO14000も全社へと展開中である。

長引く不況の中で建設業も未曾有の不況下にあり、厳しい価格競争を強いられている。

利益をあげるのも並大抵ではないが、目先の利益にとらわれて、不正な工事を行なうことは決して許されない。それこそ、職業に対するモラルの問題である。私は入社式の時に必ず、冒頭の事柄を強調して話している。施工の品質の良し悪しは、社員の心の品質管理で決まるからである。ロータリーの職業奉仕の考えを社業に生かし、少しでも社会に役立つよう努めていきたいと思っている。

「今こそ職業奉仕」

福島 賢哉 会員

私の職業分類は建築設計で、建物の設計を生業としている。10数年前独立開業した当初は、今でこそCADだが1枚の製図版を置きながらのスタートで、依頼者（クライアント）の身になって日々真剣勝負をしていた。次第に事業が拡大するにつれ技術者と経営者との両輪で様々な思いがある中、開業当時の燃えるような情熱と依頼者からの感動を受け続けることは職業奉仕、職業倫理を結果として実践していたのではないと思う。最近、「会社が消える」「隠すリスク増幅」など衝撃的な記事を目にする。有名企業の常識がいわば非常識として社会的批判を浴び、その代償として会社の解散やトップの更迭を余儀なくされるに至っている昨今、ロータリーの学ぶ「職業奉仕」、「四つのテスト」はまさに職業倫理の規範である。ここで一人ひとりが職業奉仕の実践を行う事は、自らの企業の発展に繋がり、社会のためになる（これを奉仕と言う）企業として社会に奉仕していることになると思う。やはり大事なことは、「初心忘れるべからず」ではないだろうか。

「職業奉仕は身近なもの」

石井 謙次 会員

今回のテーマの「職業奉仕は身近なもの」については、手続要覧や他の資料を読み若干勉強させて頂いた。身近な職業奉仕とは、「四つのテスト」を自ら職業を通じて実践をする事ではないかと思う。

私の会社が身を置く建設業界も大変厳しい現状である。私自身上記の事を守って日々の業務を行っているかという、大変疑問であるが、少しでも身近のところから「四つのテスト」を実践していきたいと思っている。

6. まとめ

会長 吉田 用親

ロータリーの会員は業種を代表する人たちである。職業奉仕活動は業種や企業を代表する会員の職業倫理の高揚を目指すものであり、これが企業の倫理観の高揚につながると考える。当クラブは、良く遊び、良く学ぶクラブとして火曜会等の親睦活動の充実を図ると同時に、今後も職業倫理、企業倫理の更なる向上に努めて頂きたい。

7. 講評

ガバナー補佐 片倉 章雄氏

熱心に討議された内容に感服した。特に、職業奉仕の観点から高須、福島、石井会員がご自分の職業に関して赤裸々に話されたことに大きな感銘を受けた。私の所属する日本橋RCは人数が多いので、会員全員が集まってここまで熱心に討議するのはなかなか難しい。そういう意味で、多くの会員が一同に会し、ここまで熱心に討議ができるということは東京新南RCの素晴らしい点であると思う。

(了)